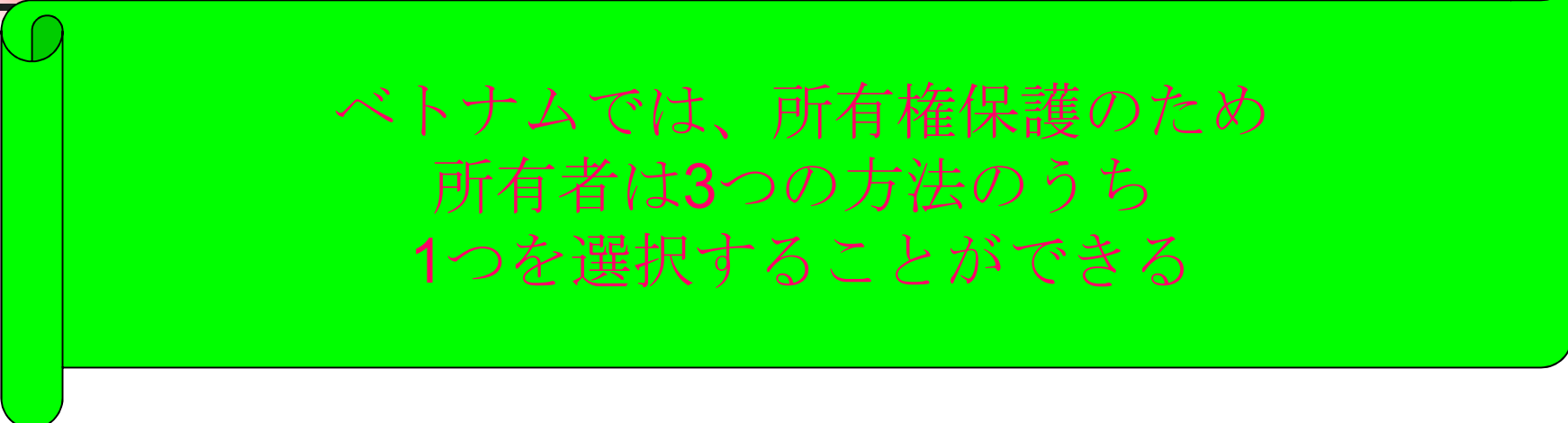
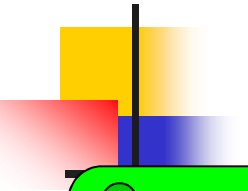


# 商標に関する紛争解決における課題と困難

経済裁判所長官:ホアン・ゴック・タン  
ハノイ、**2022年12月6日**

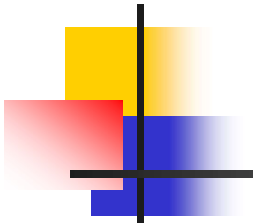


ベトナムでは、所有権保護のため  
所有者は3つの方法のうち  
1つを選択することができる

- 刑事訴訟の請求
- 行政違反処分の請求
- 民事訴訟の提起

## ハノイ市人民裁判所

以下、ハノイ市人民裁判所における  
商標権所有者の  
民事訴訟提起権についての  
詳細を考察する



## ハノイ市人民裁判所における商標権紛争の 統計データについて

2016年1月1日から2022年9月30日末までに、裁判所は2,800件の各種商業事件の受理、解決を行ったが、知的財産権紛争事件の受理は49件にとどまった。

そのうち、裁判所は、原告が訴訟の申立を取り下げたため、26件の処理の停止を決定、また、5件の事件で当事者の合意を認める決定を下し、18件の訴訟を審理した（そのうち5件は訴訟の請求は認められず、15件は訴訟の請求が認められた）。

49件の知的財産権紛争のうち、商標に関する紛争は9件のみであった。



## 民事事件の解決における課題

1. ベトナムは商標権侵害案件が本当に少ないのか。
2. 2016年1月1日から2022年9月30日までの期間で、ハノイ市人民裁判所は2,800件の商業事件を受理したが、知的財産権紛争は49件のみであった。
3. 49件の知的財産権紛争のうち、商標権紛争は9件のみであった。
4. 商標権紛争の受理と解決における課題と困難をまとめて、次の7つの理由を挙げる。



## 民事事件の解決における課題

- 裁判所での訴訟に関連して商標権所有者が心理的に躊躇する。
- 商標権侵害行為者に対して適用する制裁は依然として軽い。
- 裁判手続きはしばしば長引き、費用発生につながる。
- 事件解決過程で、裁判官は、商標所有権に関する専門機関の結論に大きく左右される（ベトナムでは現在、鑑定人は2人のみ）。



## 民事事件の解決における課題

- 知的財産に関する裁判官の専門知識はまだ限定的である（ベトナムには専門裁判所がなく、この分野の事件が少ないため、ベトナムには専門の裁判官がない）。
- 商標権侵害行為による実質的損害を判定する上で課題や困難がある。
- 知的財産権全般、特に商標権の侵害行為に適用される専門の緊急一時措置が不足している。
- 判決や決定の執行は、多くの困難に直面している。